

## I 事務事業基本情報

総合計画統括CD	02 06 01 11	重点政策分類	生きがい	所管部課	健康福祉部高齢福祉課	
事務事業名	伊達市はつらつポイント事業			担当課長名	板宮 恵	
総合計画分類	C/D	名 称		作成者名	藤田 勲	
政策	02	福祉・市民生活		担当歴	平成 29 年度から	
施策	06	高齢者福祉の充実		電話(内線)	302	
基本事業	01	高齢者の生きがいづくりの推進		事業年度	開始年度	H29
					終了(予定)年度	-

H29会計区分	4	介護保険特別会計	新規区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	経費区分	<input checked="" type="checkbox"/> 政策	補助・単独区分	<input checked="" type="checkbox"/> 補助
款	3	地域支援事業費	継続区分	<input type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 投資		<input type="checkbox"/> 単独
項	1	介護予防・日常生活支援総合事業費				<input type="checkbox"/> その他		
目	1	介護予防・日常生活支援総合事業費						

予算科目	目	1	介護予防・日常生活支援総合事業費	根拠法令・個別計画等	事業実施の根拠となる法令、条例、規則、要綱及び個別計画を全て記載
予算書上の事務事業名	一般介護予防事業費(地域介護予防活動支援事業)				地域支援事業実施要綱
					伊達市はつらつポイント事業実施要綱

## II 事務事業概要

対象	誰を、または何を対象とした事務事業なのかを具体的に記載	執行形態	事務事業の執行方法をチェック						
	市内に居住する65歳以上の介護保険第1号被保険者(要介護認定及び要支援認定者、介護保険料の未納や滞納者を除く)		<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助・負担金	<input type="checkbox"/> 市民と協働(委託・交付先等)	
目的	当該事務事業が何をねらいとし、対象をどのような状態にしたいのか。また、どのような成果を目指しているのかを具体的に記載								
	高齢者が介護予防に資する活動を通して、地域貢献や社会参加をすることで、より元気になることを期待するとともに要支援・要介護状態となることを防止する。								
	成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値	
	「目的」がどの程度達成されたか(成果)を測定できる適切な指標(数値等)を最低1以上設定して記載								
成果指標	①	ポイント付与者数	人	-	-	-	-	459	500
	②	介護予防グループ等参加者に対するポイント登録者の割合	%	-	-	-	-	60	65
	③								
成果指標の考え方・計算根拠等	ポイント付与者数を成果指標とした。別事業である「介護グループ活動支援事業」に繋がる事業であり、本事業登録者が増えることが成果と考え、さらに単純に本事業登録者数が増えるだけでなく動機付けのためにも介護予防グループの参加者に対する登録者の割合が増えることがより目的達成に繋がると考えられる。								
総合計画の成果指標に係る活動成果	重点政策(食・教育・生きがい・環境)については、総合計画「Ⅲ-2重点政策」(P16~P23)で定めた成果指標について記載								
手段	上記目的を達成するために、どのような方法で事務事業を実施したのかを具体的に記載								
	本事業に登録している高齢者に対し、対象事業への参加回数に応じてポイントを付与することから、新たな介護予防グループの立ち上げ支援や既存グループの活動支援を行うとともに、本事業の周知と登録勧奨を実施								
	活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値	
活動実績	「手段」として提供した行政サービスや活動の実績を指標(数値等)に表して記載								
	1	介護予防グループ数(元気塾を含む)	団体	-	-	-	-	18	21
	2								
3									
活動指標の考え方・計算根拠等	介護予防の自主グループが増加することで、より多くの高齢者がポイント事業に登録し参加する機会が増えることから、介護予防グループ数を指標とした。平成30年度は市主催による介護予防教室開催に伴い3グループの増加を見込んでいる。								
事務事業の現状と課題	事業の現状と事業を進めていくうえで課題となっていた事項を記載								
	介護予防グループ等に参加する動機付けとしてのポイント事業であるが、ポイントを利用できる場が限定されており、介護予防グループの開催地区によっては、動機付けとなっていないことから、ポイントが利用可能な場の拡大など課題として挙げられる。								
改善点	上記の現状と課題に対し、当該年度の重点取組み事項、設定した目標を具体的に記載								
	ポイントの利用できる場の拡大に向けた担当部署等との協議								
	上記の重点的取組み事項、設定した目標に対する改善内容及び検討(実施)中の改善内容及び当該年度を記載								
改善点	<input type="checkbox"/> (平成29又は30年度)既に改善済	<input type="checkbox"/> 事業内容							
	<input checked="" type="checkbox"/> (平成30年度)改善を検討中(又は実施中)	<input type="checkbox"/> 事業内容	<input type="checkbox"/> 投入経費	<input type="checkbox"/> 人員の配置	<input checked="" type="checkbox"/> その他	伊達まちカード担当課と利用箇所拡大に向けた協議を行う。			

平成 29 年度実施事業		総合計画統括CD 02 06 01 11		重点政策分類	生きがい	所管部課	健康福祉部高齢福祉課
事務事業名	伊達市はつらつポイント事業				CD	担当課長名	板宮 恵
					11	作成者名	藤田 勲

### Ⅲ 投入経費 (input)

投入経費 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
<b>直接事業費 (A)</b> 千円					689千円	1,106千円
国・道支出金 千円					258千円	276千円
地方債 千円						
その他特財 千円					344千円	553千円
一般財源 千円					87千円	277千円
<b>参考人件費 (B)</b> 千円					1,418千円	1,459千円
一般職員 千円					1,418千円	1,459千円
一人当たり年間平均給与 千円	5,481千円	5,821千円	5,794千円	5,733千円	5,673千円	5,835千円
投入人員 人					0.25人	0.25人
嘱託職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円	2,365千円	2,428千円	2,550千円	2,602千円	2,664千円	2,722千円
投入人員 人						
臨時職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円						
投入人員 人						
<b>投入経費 C=(A+B)</b> 千円					2,107千円	2,565千円
<b>人件費比率 D=(B/C)</b> %	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	67.3%	56.9%

### Ⅳ 一次評価

評価の視点	評価	判断理由 (左記の評価を選択した理由を具体的に記載)
観 点 別 評 価	<b>目的妥当性</b> 今後も市が主体または関与して事務事業を行っていくことは妥当か？ <input type="checkbox"/> 法律等で義務付けられている <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	(法律等名称: ) 介護予防に資する活動を実施することで、要支援・要介護状態への機能低下を防ぐことに繋がることから必要な事業である。
	<b>有効性①</b> 成果が出ているか？ <input type="checkbox"/> 目標とする成果が出ている <input checked="" type="checkbox"/> 少し成果が出ている <input type="checkbox"/> 思うように成果が出ない	各介護予防グループの参加者に対し本事業への周知及び登録勧奨を実施したことで着実に登録者数が増え、介護予防グループ活動への参加の動機付けとなっている。
	<b>有効性②</b> 成果を向上させることはできるか？ <input type="checkbox"/> 大きく向上できる <input checked="" type="checkbox"/> 向上できる <input type="checkbox"/> 向上は難しい	介護予防グループ数等の増加により本事業登録者も増えることから効果のさらなる向上が期待できる。
	<b>効率性</b> 妥当な経費で事業が執行されているか？または、成果を落とさずに投入経費を削減することはできるか？ <input type="checkbox"/> 経費削減は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 経費削減は難しい	参加回数に基づいたポイント付与となっていることから、経費削減は難しい。
	<b>公平性</b> 事業が一部受益者に偏っていないか？受益と負担のバランスは妥当か？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	介護保険料を支払っている65歳以上の高齢者で、要支援や要介護の方など介護サービスを使用している方は除き、介護保険サービスを使っていない高齢者を対象に介護保険から付与していることから公平性は保たれている。

今後の方向性	方向性の判断理由 (左記の方向性を選択した理由を具体的に記載)
総合一次評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	高齢者が増加する中、介護予防に資するだけでなく、地域貢献にもつながり、より元気な高齢者となるための介護予防グループに参加するモチベーションにも繋がることから、参加に応じたポイント付与の必要性は高いと考えられる。今後も地域で活動できる場の設立に向けた支援を行っていく必要がある。

担当課長コメント	事業の進捗状況及び今後の展望等について記載
	これからの介護予防の考え方は、高齢者の社会参加をより一層推進し社会的役割を持つことにより、生きがいや介護予防につながるというものです。本事業は、介護予防グループ等に参加するだけでなく、世話人や音楽健康指導士として社会的役割を担うことに対するインセンティブの位置づけとなり、今後も更なる推進が望まれますが、高齢者がポイントを使える場が限られているため、インセンティブとして十分とは言えません。今後はポイントの使いやすさが課題と考えます。

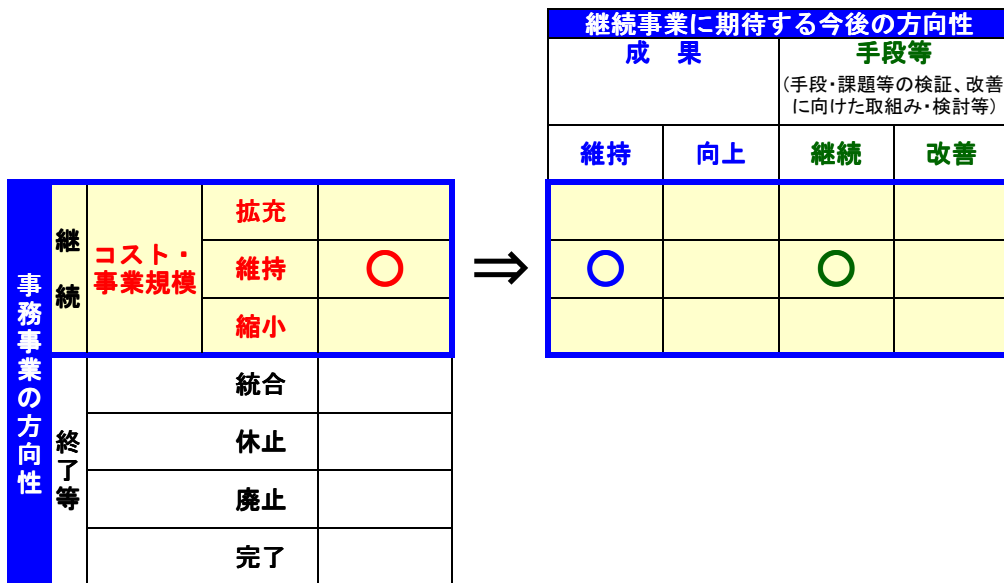
◆ 事務事業評価会議の検討内容

平成 29 年度実施事業	総合計画統括CD	02   06   01   11	重点政策分類	生きがい	所管部課	健康福祉部高齢福祉課
事務事業名	伊達市はつらつポイント事業			事業CD	担当課長名	板宮 恵
				11	作成者名	藤田 勲

1 二次評価

評価項目	評価の視点			評価
	評価の凡例	評価項目の求める水準を達成している。	○	
観点別再評価	目的妥当性	今後も市が主体、または関与して実施することが妥当である。		○
	有効性①	成果が出ている。または、事務事業の目的が達成されている。		△
	有効性②	評価の凡例	大きく向上できる	○
			向上を期待できる	△
	効率性	妥当な経費で事業を執行している。		○
公平性	受益と負担のバランスは適当である。		○	
事業ランク評価	総合計画上の視点	総合計画における当該事業の位置付けが明確であり、かつ本計画の施策の推進に貢献度が高いと認められる。		○
	事業の必要性の視点	既に明らかとなっている課題や、今後予想される課題の解消に向けて、当該事業の必要性が真に認められる。		○
	事業効果の検証の視点	事業の効果が客観的に検証されている。または、事業の効果が現れていない場合であっても、その原因を分析し、有効な方策が検討または実行されている。		○

2 二次評価に基づき期待する今後の事務事業の方向性



3 その他（特記事項・評価に関する補足事項等）

高齢者の介護予防や生きがいにつながるだけでなく、社会参加を推進するうえで重要な取組であることから、ポイントの利用場所と本事業の拡大にむけ、担当課と協議を行いながら支援を継続していくことを期待します。